

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 9日

事業所名 ういんぐきつず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	学習する部屋と遊ぶ部屋を分け、気持ちの切り替えがしやすい環境をつくっている	利用人数が多くなると狭く感じることもある
	2	職員の配置数は適切である	6	1	極力子ども:大人=2:1の環境作りを心掛けている。	子ども2人に対し、職員1人でしっかり見れている時もあれば、そうでない時もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	段差等少なく、車いすも入れる。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	振り返りの時に必ず意見交換を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	必要なアンケートなどは実施し、業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	毎年公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		まだ実施する予定はない。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	4	振り返りの時に他の職員の見聞等を聞いて役立てている	まだ外部研修等は受けていない。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	職員と話し合い、進めている。作成は過去の記録や保護者のニーズをもとに行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	独自のアセスメントツールを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	活動をする際は中心になるメンバーを決め、立案を進めている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	固定化しないよう職員と相談して決めている。長期休みにはイベント等の体験も取り入れ	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	利用時間に応じて活動の設定を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	児発管が子どもの状況等に応じて計画作成を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4		朝礼をしてしっかり確認、共有している日もあればそうでない日もある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	支援終了後、約30分程かけてその日の出来事や目標に対する振り返りを行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	上記と同様、記録を残して改善を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		子どもの成長は早い子もいればゆっくりの子もいるので、その都度見直しが必要だと感じる。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	2	固定化しないよう配慮しながら複数の組み合わせをしている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	親御様からの連絡をもとに学校に時間の確認等を行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3		現在医療的ケアが必要な子どもが通所していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	支援会議には積極的に参加し、繋がりのある事業所との情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	昨年の卒業者の移行先にも情報提供等を行った。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7		現在は行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	7		現在は行っていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎の際に、今日あった出来事等を伝えると親御さんが助言して下さいがあるのでその際は持ち帰り共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	0	7	保護者様から相談があった場合はすぐに対応している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	説明を行い、不明な点があればすぐに対応している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	相談を受けた時はできるだけ話を聞くようにし、一度事業所に持ち帰るようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		現在は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	ご意見等いただいた場合は共有し、すぐに解決するように対応している。	
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	イベント等の開催の際には確実にお知らせするようにしている。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	名前の記載があるもの等は全てシュレッダーで処理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	連絡帳やスケジュールボードの活用をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		地域に出て行く事に抵抗がある保護者様もいるため、現状維持。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	マニュアルを作成し、共有しています。	マニュアルの見直しや新しく追加など随時行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	0	7		定期的にも実施していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	7		現在拘束を行っていないので計画に記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	7	アレルギー対応児がおらずアトピー対応でお菓子などの希望は聞いている	今後、必要ならば医師の診断書に従った対応をしていきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	7	振り返りの時に共有等は行っている。	今後、事例集の作成を行っていく。	